

社協だより

心の「密」は絶やさない。共同募金

第73回 赤い羽根共同募金運動・令和2年度 地域歳末たすけあい運動

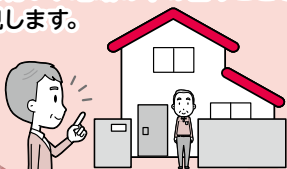
10月1日から全国一斉に共同募金運動が始まります。

募金へのご協力をお願いします。

募金の使いみち (助成例)

見守り活動

身近な地域の中で“さりげない目くばり”などを行い、地域の中の困りごとを早期に発見します。



おもちゃ図書館

障がい児等の心身の発達と社会性の向上及び保護者の交流の場として、常設しています。

サロン活動の推進

身近に行く場所があることにより、地域とのつながりが生まれ、いきがいにもなります。



地域歳末たすけあい運動・援護金の交付

地域で安心して生活ができるように、市内の生活困窮世帯や災害避難世帯の方々の本人申請に基づき、援護金を交付します。

詳しくは4ページ。



社会福祉施設の 補修や備品整備



大規模災害への備えとして 災害等準備金の積立

令和元年台風19号では県内の災害ボランティアセンターの活動に使われました。

... 鴻巣市社協に助成され活用
(赤い羽根共同募金)

... 埼玉県内の広域事業として活用
(赤い羽根共同募金)

... 鴻巣市社協に助成され活用
(地域歳末たすけあい募金)

☆社協だよりは、「社会福祉協議会会費」及び「赤い羽根共同募金」を活用し、自治会のご協力により配布されています。

発行 社会福祉法人 鴻巣市社会福祉協議会

〒365-0062 鴻巣市箕田 4211 番地1 (鴻巣市総合福祉センター内) TEL 048-597-2100

FAX 048-597-2102 ホームページ <http://www.konosu-syakyo.or.jp/>



社協ホームページはこちらから

第35回

新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、第35回ふれあい広場は開催を中止します。そのため、今年度参加予定であった各団体紹介とふれあい広場での協力内容を掲載しています。

紙面を通じて、お互いを理解することへのきっかけづくりになればと考えています。

ふれあい広場

in 社協だより

アイマスク体験で、視覚障がい者の理解へ

通所者が搭客することで、関わり合いの場づくりへ

折り紙教室等で交流しながら、盲導犬の周知活動へ

ハーネスクラブ
視覚障がい者と共に盲導犬、白杖の理解を深める活動、会員等の研修バス旅行等を実施

鴻巣市社協障害福祉サービス事業所
就労継続支援B型、生活介護施設の運営により、障がい者の就労や生活力の向上を支援

ガイドヘルプこうのす
視覚障がい者の社会参加、健康維持活動のためのガイド(サウンドテーブルテニス等)

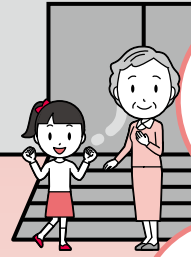


世代間教室で、交流しながら会の周知へ

鴻巣市シルバー人材センター
高齢者に働く機会を提供し、生きがい・生活の安定、地域社会の発展等に寄与する活動

こうの会
精神障がい者家族の交流と相談、当事者の自立支援の学習、当事者・家族のカフェ運営

相談所を設けて、悩みの軽減と会の周知へ



ミニ手話教室で、手話を学びきっかけづくりへ

こうのす手話サークル
手話技術の向上と手話の普及、聴覚障がい者の社会参加のための支援・協力

サロン・展示で、交流しながら会の周知へ

ボランティアグループこうのと
ボランティア精神に基づき、共に生きることを目的に音訳班、友愛班が積極的に活動

点字教室で、点字を学びきっかけづくりへ

鴻巣点字サークル「円」
視覚障がい者の社会生活を支えるための点訳、市内小・中学校への点字体験学習の指導



バザーで交流、売上金を社協に寄付することで、地域福祉活動に協力



ふれあいピンク

鴻巣市民生・児童委員協議会連合会
地域住民の立場で生活等の身近な相談相手となり、行政や専門機関に繋ぐパイプ役

販売を通じて交流し、会の周知へ

誰もが自立し共に生きる会
在宅障がい者の生活・外出支援、同行援護を提供 イベントや市役所にて販売活動

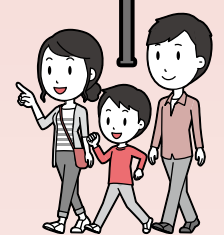


鴻巣市赤十字奉仕団
赤十字の「奉仕の精神」に基づき、募金活動・献血会場での協力、地域社会への支援活動



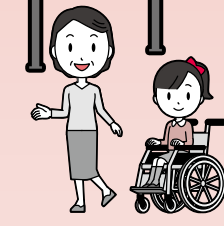
物品販売で交流しながら、会の周知へ

一粒家族会
(社福)一粒の行事協力、会員交流の手芸品製作、ゴスペル練習、地域イベント参加



販売やゲームで、交流しながら会の周知へ

夢の実ハウス
精神障がい者が悩み等を仲間や職員と共に考え、自分らしい生活を実現するための場

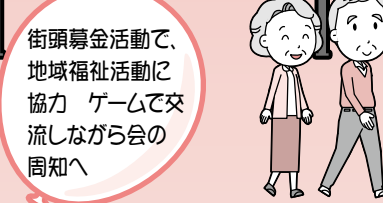


販売を通じて交流し、会の周知へ

メリーハーモニー保護者会
生活介護事業所メリーハーモニー利用者の保護者グループ 施設や地域のお祭り協力



ボーイスカウト鴻巣第2団
年長児～高校生の男女が、これからの時代に必要な「生きる力」を身につけるために活動

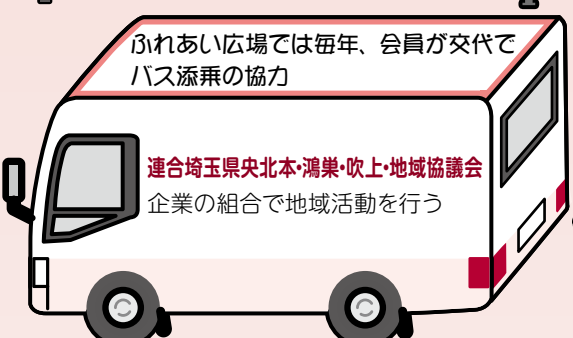


フライングディスクで、交流する場づくりへ

協力内容

団体紹介

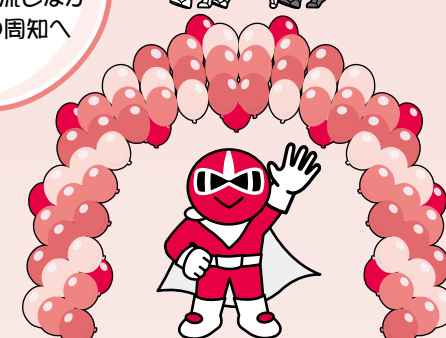
鴻巣市吹上地域身体障害者福祉会
会員相互の交流及び情報交換、自立更生、社会参加を目指す活動



ふれあい広場では毎年、会員が交代でバス添乗の協力

連合埼玉県東北・鴻巣・吹上地域協議会
企業の組合で地域活動を行う

鴻巣市手をつなぐ親の会
知的障がい児・者の親の会 講演会や施設見学会、親子で楽しむイベント、親睦会を実施



ふれあいレッド

福祉の仕事 地域就職相談会 ～高齢者・障がい者の施設で、地域を支える仕事をしてみませんか？～

羽生市周辺の福祉施設が集まる就職相談会を開催します。無資格・未経験で働ける職場もありますので、ぜひこの機会にご参加ください。

日時：令和2年10月17日(土)午後1時～午後3時 場所：羽生市民プラザ1階イベントホール 参加費：無料

備考：ご予約は<https://jinzai.fukushi-saitama.or.jp>または、電話での完全予約制になります。

申込み・問合せ：社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会福祉人材センター

TEL：048-833-8033(月～金 午前10時～午後5時 ※祝祭日は除く)

主催：社会福祉法人鴻巣市社会福祉協議会
第35回ふれあい広場運営委員会

令和2年度 地域歳末たすけあい運動・援護金の交付申請の受付

☆対象世帯・受付期間

市内在住で、住民基本台帳に登録されている世帯(区分③を除く)で、いずれかに該当する世帯
 ※生活保護世帯、預貯金がある世帯や親族から援助を受けている世帯は対象外

対象世帯							受付期間
区分①	令和2年度 市民税・県民税非課税世帯であり、かつ生活に支援を必要とする世帯						令和2年 10月1日(木) ↓ 令和2年 11月9日(月)
区分②	令和2年度中に事故・病気・新型コロナウイルスの影響等の具体的理由により減収し、申請時において生活に支援を必要とする世帯 ※目安は、申請時の世帯収入が次の基準額以下の場合						
	収 入 基準額	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人世帯以上	
		115,000円	159,000円	188,000円	223,000円	要問合せ	
区分③	災害により被災し、市内に避難されている世帯であり、かつ生活に支援を必要とする世帯(全国避難者情報システム等に登録された世帯)						

☆申請に必要な書類

必須書類	1. 申請書(1世帯1枚) 2. 振込口座のコピー(「表紙」と「見開きの1ページ目」) ※申請者名義の預金通帳 3. 本人確認書類のコピー(運転免許証等の顔写真付の証明書) ※上記がない場合、健康保険証。外国人の方は在留カード(表裏) ※家族構成等の記入内容について、民生委員・児童委員が状況を確認する場合があります。予めご了承ください。	
	区分①②	非課税証明書発行用委任状/生活保護世帯照会承諾書(中学生以下を除く世帯全員分)
添付書類	区分②	・収入状況が明らかになる書類のコピー(減収前と直近2か月分) ※給与明細書、給与振込みがされる預金通帳等 ・解雇通知書のコピー(解雇の場合)
	区分③	全国避難者情報システム等登録照会承諾書(世帯全員分)

☆申請方法

原則、本人による申請 ※身体等の理由により本人による申請手続きが困難な場合は、下記問合せ先までご連絡ください。
 民生委員・児童委員が訪問いたします。

☆申請書類設置場所

・社会福祉協議会(総合福祉センター内、吹上福祉活動センター内) ・市役所福祉課 ・吹上支所福祉グループ ・川里支所福祉グループ
 ・公民館(中央、あたご、箕田、常光、笠原、田間宮生涯学習センター、北新宿生涯学習センター)
 ※社協ホームページからもダウンロード可能(<http://www.konosu-syakyo.or.jp/>)

☆問合せ・申請書類提出先

受付時間：午前8時30分～午後5時15分(土・日・祝日を除く)

○社会福祉協議会(総合福祉センター内) 所在地：鴻巣市箕田4211-1 TEL:048-597-2100/FAX:048-597-2102

○吹上地域福祉センター(吹上福祉活動センター内) 所在地：鴻巣市鎌塚57-1 TEL:048-548-6664/FAX:048-548-6673

「あしたば祭り」「ザ・たいよう市」の中止について

毎年、多くの皆さまにご来場いただいております標記イベントにつきまして、新型コロナウイルス感染症の感染防止策から、本年度は中止とします。

新型コロナウイルス感染症予防のためのマスクを寄贈いただきました。

(順不同 敬称略)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される中、下記のとおりマスクを寄贈いただきました。マスクは、社会福祉協議会の事業や子ども食堂を通じて必要とされている方々に配布し、有効活用いたします。

●手作りマスク多数 鴻巣市赤十字奉仕団

●布製マスク多数 加美八千代会

～社協へのご厚意ありがとうございました～

令和2年6月21日～令和2年8月20日

(順不同 敬称略)

倉林 正美

5,000円

岩上 茂((株)直徳)

20,000円

交通安全 母の会 北鴻巣支部

61,322円

(有)石川電気

10,000円